

m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	③ 赤
配架番号	3 A
	14
	81-3

14193



對租界施策事項
(自一月五日一至一月十五日)

14194

第十三軍司令部
昭一七、一、三

国立公文書館	
分類	
配架番号	81-3

目次

一、施策概況

二、政務關係施策事項

三、經濟關係施策事項

一月五日以後ノ施策概況

對租界施策ハ逐次進展シ作戰行動ニ伴フ應急處理ハ一應終了スルト
共ニ今後根本方針ニ依ル租界指導實施時期ニ移行シツツアリ
政務關係ニ於テハ我方租界指導機構ノ改變ヲ要望サレ一方租界内
行政機構ヲ我方指導下ニ於テ部分的改變ヲ見ルニ至レリ
經濟關係事項ニ於テハ物資處理本十五日ヨリ開始サレ之カ終了ト相
俟ツテ民生安定上一般物資ノ流動ヲ期待サル 特ニ金融關係ニ於テ
モ物資移動禁止ニ伴フ閉塞狀態救出ノ爲物資解放ヲ要望サルルニ至
レリ
工業關係ニ於ケル閉鎖工場ノ處理ニツキテハ概ネ圓滑ニ實施ヲ見ツ
ツアリ
人口疎散工作ハ關係各方面ノ異常ノ努力ニキ拘ラズ諸種ノ事情ニヨ
リ之ガ迅速ナル實施ハ相當困難ノ實情ニ在ルキ尙關係機關ヲ督勵シ

之方可及の迅速ナル實施ニ關シ更ニ一粉ノ努力ヲ傾倒シツツアリ
其ノ他食糧問題モ租界内手持量ノ減少ト共ニ供給源確保ノ根本策
ヲ樹立スルノ要アリ目下軍用米ノ配給、内地ヨリノ外米補給、三角
地帯ヨリノ取得等考慮サレヤリ
前一月五日以降ノ工作實施事項ヲ掲グレバ左ノ如シ

三、政新關係事項

1、租界内教育行政ニ關スル事項

租界内學校ノ指導ハ國民政府ヲシテ之カ指導監督ニ當ラシムルコト
トシ之カ實施ハ大使館ヲ通シ國民政府側ニ通告シ準備工作ヲ促進セ
シメアリ

學校ノ再開ニ付キテハ國民政府ニ登録シ之カ指導下ニ入レシムヘキ
モ我方意嚮ヲ入レシメ教科書問題ノ解決ト共ニ開校促進セシムル如
ク具體案ヲ考究中

2、抗日圖書ノ處理ニ關スル件（別紙第一）

抗日圖書ノ處理ニ付キテハ大半已ニ押收シアルモ今後ハ憲兵隊ニ於
テ一括處分スル様決定尙之ニ伴ヒ敵性書局、印刷所ノ整理モ別紙ニ
依リ處理スルコトト決定

3、上海指導部設置案

今後ノ租界指導ニ當リテハ現行機構ヲ改組シ指導部ニ於テ全般企劃

ヲ決定シ實施ニ付キテハ各責任機關ニ常務トシテ行ハシム
具體案ニ付キテハ研究中

4、市參事會員罷免ニ關スル件

市參事會員中ノ英、米及和蘭ヨリ選出セル四名ノ委員ハ罷免セシメ
タルモ之カ結果獨伊ヨリノ加入増員等ノ要求アリタルモ拒絕シ現參
事會ノ機構ヲ其儘日三、華三、獨一、瑞一トシ缺員ハ補充セサルコ
トトセリ

又之カ議長ハ岡崎市參事官ヲ以テ當テ副議長トシテハ支那側ヨリ袁
參事官ヲ選出セリ

5、瀋西地區特別警察ニ關スル件

瀋西地區特別警察ノ外人邦人職員ハ引上ケシムルモ該地區ノ特殊性
ニ鑑ミ日人職員ヲ殘留セシムル様指導シアリ之カ殘留ニ付キテハ身
分證明其ノ他ニ付種々ナル難點アリ國民政府トノ關係ヲ考慮シ決定
ノ答

6、競馬ニ關スル事項

靜安寺塔競馬場ノ競馬ノ催開ニ關シテハ當分現状ノ儘實施セシムル
方針ニテ指導シアルモ獨伊ヨリノ英米ノ排斥モアリ之カ經營機構ノ
改組ニ考慮スルコトトセリ

7、猶太人救濟ニ關スル件

猶太人救濟ニ關シテハ從來米國ヨリノ資金資材ノ供給アリタルモ
現況ニ於テハ供給モ杜絶シ難民約一萬三千人ニシテ問題ヲ惹起スル
向モアリ之カ處置ヲナスノ要アリ目下具體案研究中

三、經濟關係事項

1、物資處理（別冊第二）

租界内物資ニ就キテハ以來所在數量ノ調査及一般所要物資ノ申告等モ終了シ本八日第一回物資處理委員會ヲ開催シ本十五日ヨリ之ガ軍需及物動物資ノ取得ヲ開始スル豫定。目下之ガ準備中ナリ。之ガ物資處理ニ當リテハ別冊二「上海租界進駐ニ伴フ軍用物件ノ處理要領」ニ依リ陸海軍ノ協同處理ヲ根本原則トシ實際事務ハ便宜上陸海軍ノ警備擔任地域ニ於テ夫々實施スルコトトシ興亞院物動物資モ軍ニ於テ取得スルコトトセリ。

佛租界ニ就キテハ陸軍側ニ於テ擔任スルモノトシ十五日開始三日間ノ豫定ヲ以テ同租界内敵性權益ニ付調査實施中ナリ。

物資ノ處理ニ當リテハ佈告ニヨル我意圖ヲ徹底セシムルト共ニ租界内各關係機關ト連絡ヲ密ニシ民心動搖ヲ防止スル如ク考慮シテ

2、英米閉鎖工場處理（別冊第三）

英米系紡績工場處理ニ付キテ「激性閉鎖工場處理要領」ニ依リ紡績工場十三、ジュート工場一、毛織工場四ニ對シテ本九日總領事館ヲ通シ閉鎖ノ申渡ヲナセリ
閉鎖後ノ處理ニ就キテハ解雇従業員及其ノ家族ノ歸郷セシムルコトトシ之ガ整理ハ一月二十五日迄ト決定ス
解雇手當ハ一人宛五十元ヲ標準トシテ之ガ資金ト認算方法ハ各工場ノ手持現金ノ外ニ原材料ヲ擔保トスル融資等モ考慮シアリ
尙解雇従業員ハ約二萬人ト算定サル
細部ニ關シテハ別冊二閉鎖工場申渡事項ニヨル
尙之等閉鎖工場整理業務指導ノ爲別冊第四ノ通日人商社ヨリ人員ヲ派遣セリ（一、一三日附）

3、上海地帯工業及勞務狀況調査（別冊第五）

上海地帯ニ於ケル工業生産力ノ再編成、中小華人ノ整理並ニ勞働

者對策上軍指導下ニ於テ我方各機關工部局、特別市政府等協力ノ下ニ第二次調査ヲ近日中實施ス

4、英米系工場ノ閉鎖及勞務者解雇ニ關スル件（別冊第六）

英米系工場ノ操業停止並ニ之ニ伴フ工場整理、解雇者整理ニ付テハ我方工業政策食料政策ヲ勘案シ指導方針ヲ決定セリ

5、租界米配給ノ件

工部局ニ於ケル配給ハ一日（千袋ヲ目標トシアルモ配給日ヲ一週間五日ト短縮シ極力配給數量ノ制限ヲ加ヘアリ
尙米需米二萬袋ニ對シテハ本月末配給ヲ豫定シ工部局、公董局及市政府ニ對スル割當量ニ付テハ追テ決定ス
尙工部局米ハ本月末ヲ以テ消費シ盡サルル見込ナルモ今後米穀ノ取得ニ付キテハ各方面ニ於テ對策ヲナシアリ
並ニ於テモ約二萬屯ノ配給ヲ月末ニ實施スル見込

6、人口疎救問題

第一回地方復興中央委員會ヲ開催シ人口疎救ノ促進策ヲ施セリ

目下實施シアル通行證ノ發行ハ領事館工部局等ニ於テ交付シアル
モ一月一日ヨリ一二日ニ至ル交付枚數約七千枚今後實施ニ付キテ
ハ送還銀ノ割引、團體輸送手當、來越者ノ制限等ヲ計畫シアリ
離散者ハ輸送機關ニ依ルモノ且ニ約一万人其他徒歩等ニ依ルモノ
相當數アル見込

7、英米系地産公司ニ調査員派遣ノ件
解雇者ノ手當支給等ニ付キテハ資金ノ捻出等ニ付考慮シアリ

英米系地産公司ハ從來莫大ナル收益ヲ得アリタルモ之カ處分ニ付
キテハ全く不明ニシテ今後我方ヲ把握指導上十三公司ニ對シ上
海恒産會社ヨリ調査員ヲ派遣シ調査實施セシム

8、敵産物件ノ處理ニ關スル事項

敵性財産ノ處理ニ付キテハ目下審判規定及敵性財産處理規定並英
米權益不動産處理要綱等ヲ立案近日中決定ノ筈
尙敵産處理規定別冊第七ノ通立案研究中

9、敵性銀行清算事務ニ關スル件（別冊第八）

敵性銀行十五行ニ對シテハ業務停止セシムルト共ニ清算行務ヲ實
施セシメ之ガ擔任銀行トシテ我方銀行六行ヲ指定セリ
之ガ發表ニ付キテハ一月七日附ヲ以テ別冊八ノ佈告ヲ發セリ

印刷工場再開實施要領

別冊第一 閉鎖書局印刷工場再開實施要領 昭和十七年一月十二日

一 方針

軍ニ於テ閉鎖書局及印刷工場ニ對シ現在實施シアル措置ハ一應之ヲ停止シ經營者健ヲシテ内部ヲ整理セシムルト共ニ自發的ニ有害圖書ヲ軍ニ提出セシメ營業ヲ再開セシム有害圖書ノ整理ニ關シテハ中支製紙協會ヲ協力セシム

ニ 實施要領

1 從來軍報道部ノ實施シアル措置ハ一切之ヲ停止シ成ルヘク速カニ業務關係者ヲ現地ヨリ引上ケシム

2 爾今有害圖書ニ對スル處置ハ憲兵隊ニ於テ實施シ關係機關ハ必要ニ應ジ援助ス

3 軍ニ於テ圖書調査班ヲ編成シ(關係方面ヲ網羅ス編成擔任ハ與亞院トス)當分ノ間有害圖書ノ調査及其他必要ト認ムル業務ニ從事セシム有害圖書ニ對スル措置ニ關シテハ憲兵隊長ノ區處ヲ受ケシ

- 4 閉鎖シアル書局及印刷工場ノ各責任者ヲ海軍租界部隊本部ニ出頭セシメ憲兵ヨリ別紙要旨ノ申渡ヲナスト共ニ陸海軍警備部隊ニ於テ警備上必要ナル事項ヲ指示ス此際軍報道部ハ立會スルモノトス
- 5 押收圖書ハ用紙(漂白材料ヲ要セサル色付用紙細部ニ關シテハ興亞院ニテ處置ノコト)ニ再製ス之カ爲中支製紙協會ヲシテ各書局ヨリ製紙會社間ノ圖書搬送ヲ擔任セシム但シ搬送ニ關シテハ所要ノ監視處置ヲ講スルモノトス
- 6 再訪後ト雖モ在滬圖書ニ對シテハ嚴重ナル検査ヲ續行シ有害圖書ノ絶滅ヲ期ス

別紙

申渡事項

- 一 各書局及印刷工場ニ現存スル抗日其他治安ニ害アル圖書及紙型ハ爾今各責任者ニ於テ嚴重検査ノ上日本軍ニ提出スヘシ
- 二 日本軍ニ提出スヘキ圖書ハ各種毎ニ若干部數(明示ス)ヲ又紙型ハ全部日本憲兵隊ニ提出シ其他ハ憲兵ノ指示ニ從ヒ搬出スヘシ之カ爲何月何日迄ニ搬出ノ準備ヲナシ置クヘシ
- 三 各書局及印刷工場ハ何月何日再開シ得ル如ク直チニ内部ノ整理ニ着手スヘシ
- 四 軍ニ於テ領置中ノ鍵ハ本日午後一時租界部隊本部ニ於テ各店責任者ニ交付ス
- 五 將來出版スヘキ圖書ハ事前ニ工部局ノ檢閱許可ヲ受クルモノトス

六 有害圖書及紙型ヲ穩匿シ或ハ故意ニ之ヲ販賣シ或ハ無斷搬出シ或ハ
秘密ニ出版翻刻シタル場合ハ直接行爲者ハ勿論其他ノ管理責任者ヲ
嚴罰ニ處ス

七 圖書検査ニ赴キタル憲兵及軍圖書調査班員ニハ充分便宜ヲ供與スヘ
シ

八 憲兵及圖書調査班員ノ行動ニシテ疑ハシキ場合ハ身分證明書ノ提示
ヲ求ムルト共ニ不審ノ點ハ憲兵隊本部特高内勤ニ通報スヘシ

九 上海市書業同業公會ヲ興亞院（？）ノ指示ニ從ヒ改編スヘシ
一〇 再開後ノ印刷工場ノ運営ニ關シテハ別ニ指示ス

一一 其他必要事項

極秘

別冊第二

上海租界駐在軍用物件處理要領

昭和十七年一月八日
上海陸軍最高司令部

方針

租界進駐直後ニ於テ實施スル物件ノ處理ハ租界内外ノ敵性物件中軍需物資及重要物動動資ノ取得ヲ迅速且圓滑ナラシメ併セテ重要民需物資ノ確保ニ資スルヲ目的トス

要領

一 租界内物資處理ノ爲陸海軍協同物資處理委員會（以下委員會ト稱ス）ヲ設ク
其ノ組織及任務左記ノ如シ

記

1、組織

- 委員會ハ概ネ左記要員ヲ以テ組織ス
- 委員長 方面艦隊參謀長
- 副委員長 總參謀副長

- 首席委員 方面艦隊先任參謀
- 第十三軍高級參謀
- 委員 陸海各 五
- 中支那船組隊 一
- 上海憲兵隊 一
- 華中連絡部 二
- 領事館 一

- 委員會ノ任務概ネ左ノ如シ
- (イ) 敵軍物資トシテ沒收スベキ物資ノ選定
 - (ロ) 軍需物資トシテ我方ニ取得スベキ物資ノ種類、取得數量、取得方法、陸海ヘノ配分要スレバ賠償額等ノ決定
 - (ハ) 勦動物資トシテ我方ニ取得スベキ物資ノ種類、數量、取得方法要スレバ價格等ノ決定

(イ) 右(イ)(ロ)物資中中央ヘ報告スベキ物資ノ種類、數量、取得方法等ノ決定

- 一、委員長ハ委員會ノ業務全般ヲ總理ス
- 二、副委員長ハ委員長ヲ輔佐シ委員以下ヲ指揮シ委員會ノ業務ヲ處理ス
- 三、委員ハ副委員長指揮ノ下ニ委員會業務事項ヲ審議ス
- 四、委員會ノ業務處理ノ爲常任幹事三名ヲ置ク

陸海軍
興業院

幹事ハ委員長ノ命ニ依リ陸海軍首席委員會ノ指導ニ基キ委員會ニ於ケル業務一切ノ處理ニ任ズ

六 委員會ハ必要ニ應ジ委員長之ヲ開催ス
 七 委員會ハ昭和十七年一月八日ヨリ物資處理ノ業務ヲ開始ス
 八 本業務ハ租界内全物資ニ對シ一元的ニ迅速ニ處理セシムルヲ旨トシ
 特ニ一遺民需物資ノ處理ハ夜力之ヲ促進シ現地生活必需品ノ不足ニ
 起因スル民心ノ不安動搖ノ防止ニ努ムルハ勿論腐敗散逸事ノコトテ
 カラシムル如ク適宜措置スルモノトス
 九 中央ニ對シ報告セシ物資ハ指定ノ個所ニ集積シ現地經濟至ハ其ノ發
 備地域ノ區分ニ從ヒ各々之ガ保管ノ責ニ任ズルモノトス
 十 現地ニ於ケル陸海軍ノ物資ノ處理ハ協同處理トシ細部ニ關シテハ協
 冊「租界内陸海軍協同物資處理細則」ニヨルモノトス
 十一 委員及幹事ノ人名別紙第一第二ノ如シ

別紙第一

陸海軍協同物資處理委員會人名表

委員長	方面艦隊參謀長	大川内 中將
副委員長	總參謀副長	野田 中將
首席委員	方面艦隊先任參謀	山本 大佐
委員	第十三軍高級參謀	佐方 大佐
委員	方面艦隊參謀	三木 中佐
同	同	松本 少佐
同	第一海軍經理部	古賀 中佐
同	海軍軍需部	高橋 中佐
同	第一海軍經理部	前田 大尉
同	總參謀部	古谷 中佐
同	第十三軍參謀	福山 中佐



租界内陸海軍協同物資處理細則

昭和十七年一月八日
上海陸海軍最高司令部

上海租界内ニ於ケル物資ノ處理ハ本細則ニ依ルモノトス

一、軍需物資ハ別紙第一ハ其ノ所在場所ノ如何ニ關係ナク左記要領ニ依リ處理スルモノトス

二、敵性ハ米、英、重慶、和蘭、ベルギー、メキシコ、グアテマラ等ヲ指ス以下同一公有ノモノハ凡テ之ヲ沒收ス

三、敵性私有ニシテ直接軍用ニ供シ得ベキモノハ別紙第一ハ凡テ之ヲ押收使用ス但シ賠償ヲ建前トス

四、敵性私有ニシテ間接軍用ニ供シ得ベキモノハ別紙第一ハ軍ニ於テ特ニ必要トスル場合ニ限り之ヲ徵發スルモノトス

五、開戦後我交戦権ヨリノ逃避ヲ目的ニ非敵性國ハ轉籍セラレタル敵性公有財産ハ凡テ其ノ効力ヲ認メズ

敵性私有財産ノ轉籍ハ兵器、非鐵金屬、鋼材、鑛物油、通信器材

- 生ゴム、羊毛、棉花、皮革ニ關シテハ其ノ効力ヲ認メズ開戦前産凍結令實施後ニ轉籍セシモノト雖モ合法且善意ナリト認メラレザルモノ例ヘバ法律上ノ手續及代價ノ支拂ヲ完了シ非サルモノノ如キハ之ヲ認メズ
- 5、非敵性租界ニアル敵性物資ニ對シテハ軍ニ於テ該租界當局ノ了解ヲ得タル上前各項ニ準ジ之ヲ處理ス
- 6、非敵性公私有物資ニシテ直接軍用ニ供シ得ベキモノ及間接軍用ニ供シ得ベキ物資中重要ナルモノハ鐵鋼、非鐵金屬、鑽石、機破及部分品、皮革類、生ゴムハ強制買収ヲ實施スルモノトス但シ日本人及獨、伊、ソ聯人所有ノモノニ就テハ別途考慮ス
- 7、其他ハ軍ニ於テ必要トスルモノ以外運力ニ封印登記ヲ解除スルモノトス

ニ物資ニ關シテハ別紙第一ノ取得ニ關シテハ軍需物資ト合一シテ取得シ其ノ配分ヲ受クルモノトス、但シ軍需物資トシテ考慮セラレラザ

ル物動物資ニツキテハ概ネ前項軍需物資ニ準ジ之ヲ取得シ爾後軍需リ其ノ讓渡ヲ受クルモノトス細部ニツキテハ關係機關ニ於テ別途協議スル所ニヨルモノトス

三、軍需及物動物資ノ取得ハ左記要領ニヨリ處理スルモノトス

一、要 旨
陸海軍所要ノ軍需物資及興亞院關係ノ物動物資ハ協同處理ヲ行フモ其ノ實際事務ハ便宜上陸海軍夫々目已警備擔任地域内ノモノニ對シ實施スルモノトス
陸海軍ニ於テ各々他地域ニ在ル軍需物資ニシテ切要ナルモノハ陸海軍相互當垂者間ニ於テ協議ノ上其ノ分與ヲ受クルモノトス
興亞院關係ノ物動物資ノ取得ニツキテハ興亞院ニ於テ豫メ其ノ所製品日並ニ數量ヲ陸海軍ト協議ノ上決定シ之カ取得ニ關シ依職スルモノトス
取得當リテハ警備兵力ヲ増加シ當該物資一般ノ賣買移動ヲ禁止

- シ憲兵隊協力ノ下ニ一地區毎ニ徹底的ニ搜索取得スルモノトス
- 2、沒收又ハ押收スベキ物資ハ敵産處理委員會ノ決定ニ基キ委員長之ヲ決定シ前條實施機關ニ指令シ處理セシムルモノトス
- 沒收又ハ押收スベキ物資ニツキテハ陸海軍最高指揮官ノ沒收令書(別冊別紙第二)又ハ押收令書(別冊別紙第三)ヲ具ノ所有者、權利者又ハ保管者ニ交付ス
- 3、徵發スベキ物資ハ概ネ内地公定價格ノ五割ヲ以テ前項ニ準ジ處置スルモノトス
- 徵發スベキ物資ニツキテハ陸海軍最高指揮官ノ徵發令書(別冊別紙第四)ヲ具ノ所有者、權利者又ハ保管者ニ交付ス
- 4、沒收、押收、徵發、買收ノ區分明確ナラザルモノニ對シテハ不取敢假受領證(別冊別紙第五)ヲ交付シ審査決定後所要ノ措置ヲトルモノトス
- 5、兩租界内ニ於ケル登記未済ノ隱匿兵器彈藥並ニ其ノ他軍需及物

動物資ハ之ヲ沒收ス
 登記セシモノト雖モ軍ニ於テ其ノ所持ノ必要ヲ認メザルモノニ就テハ之ヲ徵發ス

6、取得期間
 買收ハ業務開始後概ネ一ヶ月トシ實地地域ハ當該物資ノ移動ヲ禁シ交通ヲ遮斷ス

7、買收價格
 左記標準ニヨルモノトス

左記標準ニヨルモノトス

- 敵國人ノ私有
 内地公定價格ノ五割
- 第三國人、支那人ノ強制買收
 内地公定價格ノ十割
- 8、支拂要領
 徵發代價ノ支拂ニ關シテハ別ニ定ムル所ニヨル
- 買收物資ニツキテハ甲支那野戰補給諸隊長、第一海軍經理部長ノ

買上令書（別冊別紙第六）ヲ其ノ所有者、権利者又ハ保管者ニ交
付ス

買收品代價ハ出來得ル限り速カニ正當権利者ニ支拂フモノトス但
シ當該物資ガ擔保物件、見返物件等ナル時及正當権利者ヲ知り得
サル時ハ正金上海支店ニ代金ヲ預託ス

9、買收資金

接收シタル法幣安定委員會資金ヲ利用シ所要金額確定シタルトキ
陸海軍、與亞阮豫算ヲ以テ返却ス

陸海軍物資ノ處理

隱匿セラレアル軍需及物動物資ヲ密告シ來リタル場合ハ憲兵ニ於テ
速カニ侵犯並ニ散逸防止ノ處置ヲ爲シ委員會ニ報告スルモノトス
委員會ハ其ノ内容ヲ審査シ要スレバ更ニ必要ナル人物ヲ派シ調査ヲ
實施シタル上其ノ處分法ヲ決定シ所要ノ措置ヲナスモノトス
前項密告者ニ對シテハ其ノ市價ノ二十分ノ一ヲ標準トシ罰金ヲ與

ヲルヨトヲ得

重要民需物資ハ輸送行政機關ハ工部局、公董局、市政府ニシテ民
生ニ支障ナカラシムル如ク速カニ適宜措置ヤシムルモノトス

工場事業場等ニ所在ノ物資ノ處理ニ關シテハ前ニ定ムルモノトス

中央ハノ報告

中央ハ報告スベキ物資ニ就テハ委員會ニ於テ決定ス其ノ範圍未定
ノ如シ

- 1、陸海軍軍需物資ノ主要ナルモノ
- 2、物動物資ノ主要ナルモノ

原本不明瞭

加册別紙第一

軍需並ニ物動物資

1、直接軍用ニ供シ得ベキモノ

イ、兵器、彈藥、炸敷物

ロ、硝子油

1、原油

2、重油

3、予イーゼル油

4、揮發油

5、輕油

6、石油(灯油)

7、潤滑油

8、イソオクタン

9、ニチルツルード

ハ、自動車及部品

ニ、通信機材及器具

ホ、航空機材及器具

ヘ、電機、電機、針金、釘

ト、醫藥品、衛生材料及醫藥器具

原本不明瞭

2、開港軍用ニ供シ得ベキモノ

4、鐵 鋼

- 1、鋼材及鋼板
- 2、特殊鋼
- 3、鉄 鋼
- 4、屑 鐵
- 5、ブリキ板及亜鉛引鐵板
- 6、年 田

5、非鐵金屬(一半製品ヲ含ム)

- 1、鉛
- 2、亜鉛
- 3、安質母尼
- 4、錳
- 5、タングステン
- 6、マンガン
- 7、コバルト
- 8、セリウム
- 9、ニッケル
- 10、ウラン
- 11、クロム
- 12、バナシウム
- 13、マグネシウム
- 14、フェロアライ
- 15、アルミニウム
- 16、白金
- 17、白金
- 18、金
- 19、銀
- 20、水銀
- 21、ニクロム線
- 22、銅及銅合金

ハ、鑽石其ノ機

- 1、石 綿
- 2、雲 母
- 3、水 晶
- 4、黒 鉛
- 5、炭素棒
- 6、工業用ダイヤモンド
- 7、螢 石
- 8、山頂金屬ノ原鑽

ニ、機械及部分品

- 1、工作機械
- 2、精密機械
- 3、電氣機械
- 4、動力機械
- 5、光學機械(含寫真機材)
- 6、鑛山機械
- 7、各種工具及部分品

ホ、油脂類

- 1、桐 油
- 2、蓖麻子油
- 3、松 脂
- 4、亞麻仁油
- 5、グリース
- 6、密 臘
- 7、セラツク
- 8、生 漆

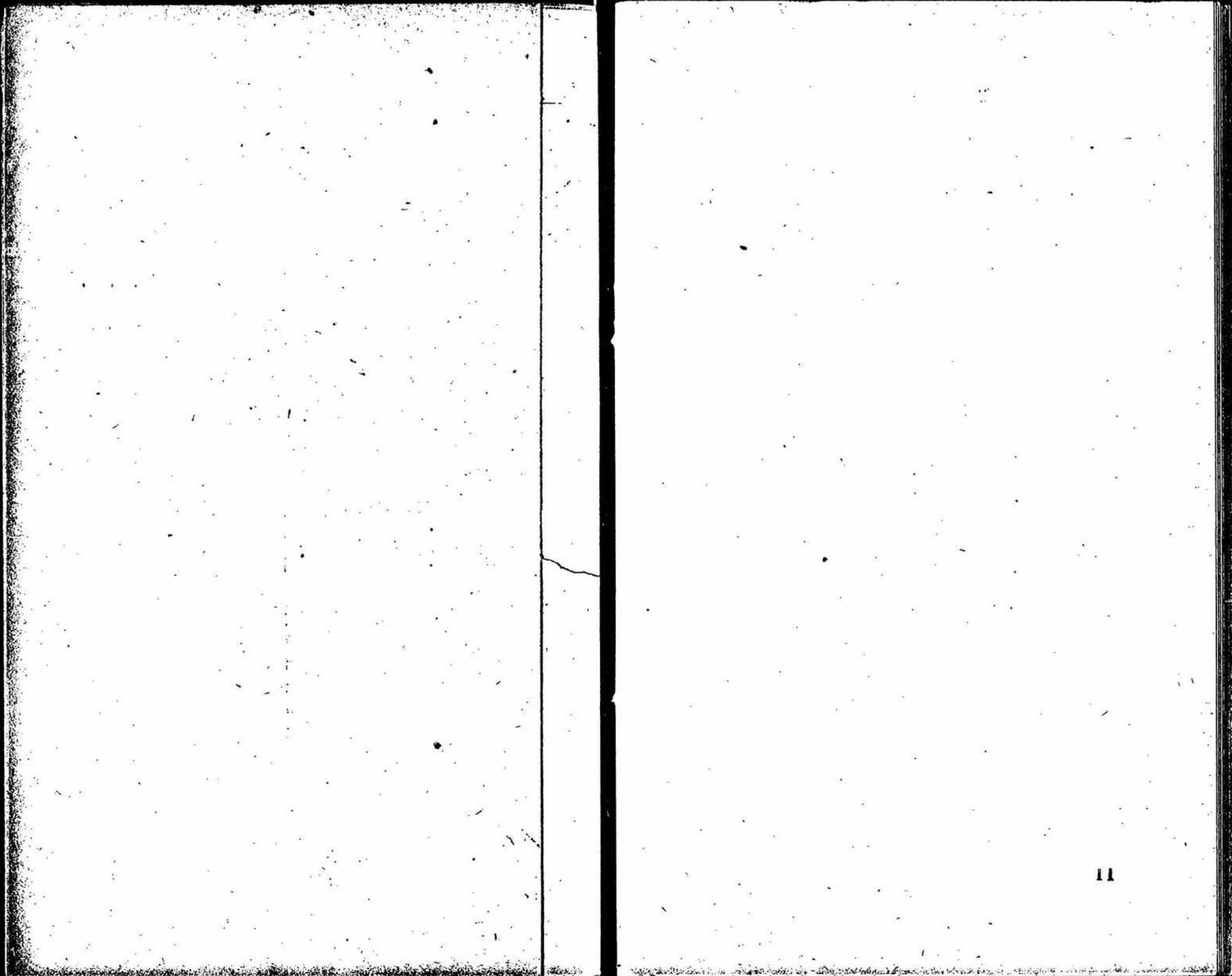
ヘ、米 材

- 1、木 材
- 2、ラワン材
- 3、ベニヤ板
- 4、テーク材
- 5、コルク

原本不明瞭

- ト、皮革類
 - 1、原皮
 - 2、毛皮
 - 3、鞣皮
- チ、麻及麻製品
 - 1、麻
 - 2、麻袋
 - 3、麻索
- リ、羊毛類及同製品
 - 1、羊毛
 - 2、毛糸
 - 3、毛布
- ヌ、毛織物
 - 4、毛織物
- ヌ、棉花及綿製品
 - 1、棉花
 - 2、綿糸
 - 3、綿布
- ル、護膜及同製品
 - 4、糸屑
 - 5、落棉
 - 6、水垢
- ワ、工業用品（ヘルトネース）
 - 1、生護膜
 - 2、多イヤー及テニール（自動車及自轉車）
 - 3、工業用品（ヘルトネース）
- ヲ、工業藥品
- ウ、其ノ他

- 1、ドラム機
- 2、ブリキ籠
- 3、港用品
- 4、艦船用計器
- 5、織裝品
- 6、紙類
- 7、特種雜貨類



種

色 黄

別冊別紙第二

沒收陸軍兵貨第 號

昭和 年 月 日

殿

上海方面陸軍最高指揮官

沒收令書

左ノ物資ハ大日本陸軍ニ於テ之ヲ沒收ス

一 本紙持參者ハ 年 月 日迄ニ陸軍ヨリ差遣スル係官ニ送ラ

引渡スヘシ

二 現品ヲ引渡シタルトキハ受領部隊メ檢印ヲ

三 沒收ニ關シ英議アル者ハ檢印後十日以内ニ榮第 一六二九部隊ニ申出

ツヘシ

品名	單位	數量	所在倉庫又ハ店舗

昭和 年 月 日受領
(三片複寫式トス)

裏面白紙

別冊別紙第二
沒收海第 號

昭和 年 月 日

上海方面海軍最高指揮官

沒收令 殿

左ノ物竝ハ大日本海軍ニ於テ之ヲ沒收ス

一 本紙持參者又ハ年 月 日迄ニ海軍ヨリ差遣スル係官ニ之ヲ引渡
ベシ

ニ 現品ヲ引渡シタルトキハ受領ノ檢印ヲ受クベシ

三 沒收ニ關シ異議アル者ハ檢印後十日以内ニ第一海軍經理部ニ申出スベシ

品 名 單位 數量 所在倉庫又ハ店舗

昭和 年 月 日 受領

2 種

赤羽部 第三

神武陸軍 兵 第 號

昭和 年 月 日

殿

上海方面陸軍最高指揮官

押 收 令 書

左ノ部會ハ大日本陸軍ニ於テ之ヲ押收ス

一、本部持參者又ハ 年 月 日迄ニ陸軍ヨリ差遣シタル係官ニ

之ヲ引渡スヘシ

二、此部ヲ引渡シタルトキハ受領部隊ノ檢印ヲ

二、神武ニ關シ興議アル者ハ檢印後十日以内ニ

シヘシ

受領部隊ノ檢印ヲ
第 第 第 第
六 六 六 六
二 二 二 二
九 八 七 七
部 部 部 部
隊 隊 隊 隊
申 出

所在倉庫又ハ店舗

名	單位	數	量

(三片複寫式トス)

別冊別紙第三
(複写式トス)

押收海軍 券

昭和 年 月 日

上海方面海軍最高指揮官

殿

押收 令 書

左ノ物資ハ大日本海軍ニ於テ之ヲ押收ス

一 本紙持参者又ハ 年 月 日迄ニ海軍ヨリ差遣シタル係官ニ之ヲ

引渡スベシ

ニ 現品ヲ引渡シタルトキハ受領廳ノ檢印ヲ受クベシ

三 押收ニ關シ異議アル者ハ檢印後十日以内ニ第二海軍經理部ニ申出ツベシ

品名	單位數	量	所在	倉庫	又ハ店鋪

昭和 年 月 日 受領

色 青 2粒

別冊別紙第四

徴發陸自第 兵 號

昭和 年 月 日

上海方面陸軍最高指揮官

2 糧

徴發令書

左ノ物資ハ大日本陸軍ニ於テ之ヲ徴發ス

一、本紙持參者又ハ 年 月 日迄ニ陸軍ヨリ差遣スル係官ニ之ヲ引渡スヘシ

二、現品ヲ引渡シタルトキハ受領部隊ノ檢印ヲ受クヘシ

三、現品ヲ引渡シタル後ハ公示ニ基キ本書ヲ添へ補償額ノ請求ヲナスヘシ

赤 色

品名	單位	數	量	單價	計	所在倉庫又ハ店舖

昭和 年 月 日受領
(三片複寫式トス)

別冊別紙第四
(三片紙寫入)

徵發海筭 辨

昭和 年 月 日

上海方面海軍最高指揮官 殿

徵發令書

左ノ物資ハ大日本海軍ニ於テ之ヲ徵發ス

一 本欲持參者又ハ 年 月 日迄ニ海軍ヨリ差遣スル係官ニ之ヲ引渡スベシ

二 現品ヲ引渡シタルトキハ受領廳ノ檢印ヲ受クベシ

三 現品ヲ引渡シタル後公示ニ基キ本書ヲ添へ補償額ノ請求ヲナスベシ

品名	單位	數量	單價	代價	所在倉庫又ハ店鋪

昭和 年 月 日 受領

色 示 ↓ 2 纏

假
受
領
部
榮
第
一
六
二
九
部
隊
長
榮
第
一
六
二
九
部
隊
長
榮
第
一
六
二
九
部
隊
長

假
受
領
部
榮
第
一
六
二
九
部
隊
長

日

殿

領

部

榮
第
一
六
二
九
部
隊
長
榮
第
一
六
二
九
部
隊
長
榮
第
一
六
二
九
部
隊
長

別冊別紙第五
受領簿第 號

昭和 年 月 日

第一海軍經理部長

假受領證

左ノ物資ハ大日本帝國海軍ノ所製ニ依リ之ヲ假受領ス
 一 本署持参者又ハ 年 月 日迄ニ當部ヨリ差遣スル係官ニ之ヲ引渡スベシ
 二 現品ヲ引渡シタルトキハ當部ノ檢印ヲ受クベシ
 三 本品ノ正當ナル所有權者ハ之ヲ立證シ得ベキ一切ノ資料ヲ整ヘ 年 月 日迄ニ第一
 一海軍經理部ニ出頭スベシ
 若シ右期日迄ニ出頭セザルモノハ正當ナル權利者ニ非ルモノト認メ本品ヲ沒收セララルコトアルベシ

品名	單位	數量	所有倉庫又ハ店舗	記	事

昭和 年 月 日受領

赤色

2 粒

裏面白紙

別冊別紙第六

買収陸兵第 貨目第 號

昭和 年 月 日

榮 榮 榮
第 第 第
一 一 一
六 六 六
二 二 二
九 八 七
部 部 部
隊 隊 隊
長 長 長

2 程

殿

買 收 令 書

左ノ物資ハ大日本陸軍ニ於テ之ヲ買収ス

一、本紙持参者又ハ 年 月 日迄ニ當部隊ヨリ差遣スル受領者

ニ之ヲ引渡サレ度

三現品ヲ引渡シタルトキハ當部隊ノ檢印ヲ受ケラレ度シ

三買収價格ニ付テハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

四現品ヲ引渡シタルトキハ本書ヲ添ヘ代金請求書ヲ差出サレ度

五買収代金ハ現品受領後ナルヘク速カニ支拂フ

所在倉庫又ハ店舗

品名	單位	數	量	單價	計	所在倉庫又ハ店舗
合計						

昭和 年 月 日受領

(三片複寫式トス)

裏面白紙

別紙別紙第六
 (複寫式トス)
 買收海簿
 昭和 年 月 日
 第一海軍經理部長

買收令書
 昭和 年 月 日

左ノ物賣ハ大日本海軍ニ於テ之ヲ買收ス
 一 本紙持参者又ハ 年 月 日迄ニ當部ヨリ差遣スル保管者ニ之ヲ引渡サレ度シ
 二 現品ヲ引渡シタルトキハ當廳ノ檢印ヲ受ケラレ度シ
 三 買收價格ニ付テハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ
 四 現品ヲ引渡シタルトキハ本書ヲ添ヘ代金請求書ヲ差出サレ度シ
 五 買收代金ハ現品受領後可成速ニ支拂フ

品名	單位	數量	單價	代價	所在倉庫又ハ店舗

昭和 年 月 日受領

別冊第二 閉鎖工場申渡事項

昭和十七年一月八日
地方復興對策中央委員會
工場關係委員會

一、別記工場ハ昭和十七年一月九日ヲ以テ操業ヲ停止シ、解雇セル工場
従業員及其ノ家族ハ努メテ之ヲ歸郷セシム
二、操業停止、解雇、歸郷其ノ他閉鎖工場ノ整理ニ付テハ左記要領ニ依
ルベシ

記

- ノ操業停止ニ伴フ従業員ノ整理ハ昭和十七年一月二十五日迄ニ完了
スルコト
- 1、各工場ノ手持現金
 - 2、解雇手當ハ従業員一人宛五拾元ヲ標準トシテ支給スルコト
 - 3、解雇手當資金ノ調達方法ハ左ノ順位ニ依ルコト
- 1、銀行預金ノ擔保トスル日本側銀行ヨリノ融資
 - 2、銀行預金ノ擔保トスル日本側銀行ヨリノ融資

- 3、原材料及製品等ヲ擔保トスル日本側銀行ヨリノ融資
 - 4 従業員ノ歸郷ニ關シテハ左記ニ依ルコト
 - 1、歸郷特別通行證ノ交付ヲ受クルコト
 - 2、別途指示スルトコロニ依リ歸郷者ノ集團輸送ヲナスコト
 - 5 工場閉鎖ニ伴フ處置ハ左記ニ依ルコト
 - 1、現金及有價證券ハ別ニ指定スル日本側銀行ニ預入レ又ハ保管ヲ委託スルコト
 - 2、債權、債務ノ整理並ニ在庫品ノ處理ニ付キテハ別途指示ス
 - 3、工場閉鎖後ニ於ケル工場財産ノ保管ハ別ニ指示スル時期迄現經營者ノ責任ニ於テ爲スコト
 - 4、右事項ノ實施及其他細部ニ關シテハ我方ヨリ派遣スル會計監督者ノ指示ニヨルコト
- 三 左記事項ハ昭和十七年一月十五日迄ニ在上海日本總領事館ニ届出ズベシ
- 1、解雇従業員數及其ノ家族數並ニ歸郷人員數
 - 2、歸郷地別人員數

- 3、解雇手當ノ總額
 - 4、手持現金
 - 5、銀行豫金總額及預入レ銀行名
- 四 其ノ他ノ事項ニ付テハ追テ指示スベク尙不明ナル事項ニ付テハ在上海日本總領事館ニ連絡スベシ

以上

閉

鎖

工

場

ノ、紡績工場

工場名	國籍	所在地
怡和紡績 怡和紗廠	英	楊樹浦路六七〇
楊樹浦紗廠	"	威妥碼路二四
公益紗廠	"	勞勃生路一五〇
綸昌漂染 紡績加工	"	浦東陸家嘴
中紡紗廠	"	延平路二七一
第一廠	"	西光復路九四
第二廠	"	

工場名	國籍	所在地
第三廠	英	西光復路
統益紗廠	"	莫干山路二五
崇信紗廠	"	西光復路一
信和紗廠	"	莫干山路二六
安達紗廠	"	靜安寺路一四八六
申新第九廠	"	澳門路一四〇
申新第二廠	米	宜昌路九六
德豐紗廠	"	康腦脫路一一二〇
合豐企業公司	"	康腦脫路一〇〇七
保豐紡織公司	"	延平路一二三
永安第三廠	"	麥根路四九一

2、ジュート工場

怡和紡績楊樹浦紗廠内 ジュート工場	英	威妥碼路二四
----------------------	---	--------

3、手織工場

<p>豐絨線廠</p> <p>上海手織防織廠</p> <p>ブリテツシユ羊毛産業 公司</p> <p>ニコルス手織廠</p>	英	<p>楊樹浦東陽路四〇〇</p> <p>楊樹浦路六一</p> <p>No. 604 Wetmore Road</p> <p>華德路一〇一三</p>
--	---	---

別冊第四

閉鎖紡績工場ノ整理業務指導ニ關シ日本
側商社並閉鎖工場ニ對スル指令ノ件

昭一七、一、一三

首題ノ件ニ就キ別紙「英米閉鎖工場整理監督擔任區分」ニ依リ日本側

擔當會社並閉鎖工場ニ對シ左記通牒ヲ發スルコト

記

一 邦人會社ニ對スルモノ

英米閉鎖紡績工場ノ整理業務監督ニ關スル件

支那方面艦隊司令部

登集團司令官

邦人會社宛

去ル一月九日ヲ以テ別紙英米籍工場ニ對シ操業停止並工場閉鎖ヲ命ジタルヲ以テ貴社ハ別紙區分ニ基キ閉鎖工場ニ必要ナル人員ヲ派遣シ操業停止並工場閉鎖ニ伴フ整理業務ヲ指導シ且之ヲ促進セラレ度、業務實施上必要ナル指示ハ別ニ之ヲ示達ス

二 閉鎖工場ニ對スルモノ

工場整理ニ關シ日本商社ヨリ監督者派遣

ニ關スル件通牒

支那方面艦隊司令部

登集團司令官

閉鎖工業宛

貴ニ示達セル貴社ノ工場整理ニ關シ今般別紙ノ通日本商社ヨリ必要ナル人員ヲ派遣シ整理業務ヲ指導監督セシムルニ付承知相成度
「別紙添附」

安	申	德	合	保	永	密	上	英	ニ
新	第	第	第	第	第	第	第	第	第
九	二	二	二	二	二	二	二	二	二
達	米	米	米	米	米	米	米	米	米
靜	澳	宜	康	延	麥	揚	ウ	華	華
安	門	昌	腦	平	根	樹	エ	德	德
寺	路	路	路	路	路	浦	ス	路	路
路	路	路	路	路	路	路	ト	路	路
陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	モ	路	路
軍	軍	軍	軍	軍	軍	軍	ア	路	路
裕	內	日	日	日	日	日	路	路	路
豐	外	華	華	華	華	華	路	路	路
紡	棉	紡	紡	紡	紡	紡	路	路	路
菱	田	田	田	田	田	田	路	路	路
田	中	中	中	中	中	中	路	路	路
逸	朋	朋	朋	朋	朋	朋	路	路	路
次	次	次	次	次	次	次	路	路	路
次	郎	郎	郎	郎	郎	郎	路	路	路
次	郎	郎	郎	郎	郎	郎	路	路	路
次	郎	郎	郎	郎	郎	郎	路	路	路

別冊第五

方針

上海地帯ノ工業生産力ノ再編成、中小華人工場ノ整理並ニ労働者對策ニ必要ナル基礎資料作成ノ爲租界對策機關ヲ主体トシ我方各機關、工部局、公董局、特別市政府等協力ノ下ニ上海地帯ニ存スル各工場ニ就テ其ノ生産状況並ニ勞務状況ヲ調査ス

要領

- 一 調査地域及對象
 - 上海共同租界、佛租界、閘北、南市、滬西、浦東、吳淞等ニ存スル各工場工場及事業場
- 二 調査機關
 - 調査機關ハ左ノ區分ニ從ヒ委託スルモノトス
 - (1) 共同租界内ノ工場 工部局

工部局 第一一九 統制班

(四) 佛租界内ノ工場 公董局

(五) 租界内外ノ日本籍工場 興亞院

(六) 租界内外支人工場 特別市政府及興亞院

三 調査ノ方法

(1) 各調査機關ニ於テ大々調査セシメ下ヲ各工場ニ配布シ各事項ヲ記入セシメタル上之ヲ蒐集ハルコト

(2) 前記机上調査ニ基キ職工三十人以上ヲ使用スル工場ニ就キ實態調査ヲ實施ス

(3) 英米系工場ニ關シテハ急速ナル處置ヲ要スルニ付興亞院ニテ附記第一案ニ依リ別途調査ス

四 調査ノ整理

各調査機關ニ於テ蒐集シタル調査資料ハ之ヲ總テ租界對策機關ニ於テ整理ス

五 調査ノ旨

(1) 机上調査ハ別從第二案ニ依リ各調査機關ニ於テ之ヲ完成ス

(2) 實態調査ハ別紙第二案ニ依リ調査除ヲ完成ス

六 調査期間

第一次 英米系工場 自十二月二十五日
第二次 其他ノ全工場 自二月二十日

七 調査費

一萬圓 (興亞院ニテ負擔ス)

八 調査事項

(1) 机上調査ハ別紙工場調査表ニ依ル

(2) 實態調査ハ左記事項ヲ調査ス

(イ) 工場ノ設備、設計、生産率等ニ關スル事項

(ロ) 勞務者ノ技術ニ關スル事項

(ハ) 工場ノ特色及利用限度等ニ關スル事項

九 解説事項

調査實施ニ當リテハ左記各機關・密接ナル連絡ヲ採ルモノトス

- 陸軍憲兵隊
- 海軍武官府
- 上海特務機關
- 興亞院
- 領事館

工場調査表

一般調査		特別調査	
1. 工場名	本外國名 工場名 (工場略号記入ノコト)	1. 工場全般概見 (工場略号記入ノコト)	
2. 所在地	工場 (工場場所)		
3. 國籍		3. 工場設備 其ノ他	
		蒸汽動力 台 馬力 消費電 蒸氣機 台 馬力 石油機 台 馬力 其ノ他	
1. 2. 従業員		種別 國籍 支那人 日本人 英米系人 其ノ他 計 専務 工場 計 工場 計	1. 技術者數 2. 給與狀況

工場調査表

一般調査				特別調査	
1. 工場名 本外国名 工場 (工場所在地)	-----			1. 工場全般概見 (工場略図記入ノコト)	
2. 所在地					
3. 国 籍					
4. 責任者名 (國籍)					
5. 經營形態					
6. 沿革及 收盤狀況	設立年月日				
7. 資本	公 稱 拂 込 企業總資本	支那資本 日本資本 英米資本 其/他資本			
8. 生産状態	主要生产品名	生産能力/年額	1940年生産量		
9. 原料材料 品	主要原材料	現在庫量	原 産 地	備 考	
	主要機械	數 量	規 格	備 考	
10. 機械設備				1. 工場設備ニ對スル意見 2. 機械ノ精度及保管狀況	
11. 動力設備	電気動力 蒸氣機 石油機 其/他	台	馬力	消費量	
12. 従業員	種別	支那人	日本人	英米系人	其/他
	事務				
	工場				
	計				
					1. 技術者數 2. 給與狀況

シ關係陸海軍ト協議ノ上其ノ處理方法ヲ領事館ヲ通シテ經營者ニ
通達スルモノトス

2 操業停止ヲ命スル場合

操業困難ナラサルモ特ニ操業停止ヲ命スル場合ハ陸軍、海軍、領
事館、與亞院協議ノ上之ヲ決定シ領事館ヲ通シテ其ノ旨ヲ言渡ス
ト共ニ之ニ伴フ各般ノ處理ヲ命スルモノトス
ニ勞務者解雇ニ關スル指導要領

ノ解雇セシムル勞務者ハ極力農村ニ歸郷セシムル如ク指導スルモノ
トス

2 退職手當ハ概ネ一ヶ月分ノ總收入額程度トスルコト退職手當以外
ノ賞與又ハ勞務者積立金等ノ支給ハ該工場ニ現金ノ手持ヲ有スル
時ニノミ認ムルモノトス

3 退職手當等ノ財源ニ就テハ左記ニ據ラシムルモノトス
イ 手持現金

ロ 銀行預金ヲ擔保トスル日本側銀行ヨリノ貸出

ハ 換價シ易キ物件ヲ擔保トスル日本側銀行ヨリノ貸出

4 將來再開ノ場合必要ナル勞務者ニ就テハ適當ナル連絡ヲ保持セシ
ムルモノトス

ニ 手持製品及原材料ノ處分

製品及手持原材料ノ處分ニ就テ我方ノ指示ニ從ハシムルコト

四 現金ノ處分

手持現金ハ我方ノ指定スル銀行ニ預金セシムルコト

五 債權、債務ノ整理

工場ノ債權、債務ニ就テハ我方ノ確認ヲ經タル後整理セシムルモノ
トス

六 工場ノ保管

閉鎖セル工場ハ差當リ經營者ノ責任ニ於テ保管セシムルモノトス
七 整理ノ爲必要アルトキハ邦人同業者ヲシテ其ノ實施ヲ監督指導セシ
ムルコト

別冊第七



上海租界ニ於ケル敵性財産處理規程（案）

昭和十七年一月十三日

上海租界ニケル敵性財産處理規程（案）

第一節 要旨

米、英、蘭諸國ニ對シテ南戰ニ伴ヒ中支那ニ於テモ之等敵國ノ公私有財産ニ關シ積極的措置ヲ講スルノ要アルヲ以テ本規程ヲ定ム

第二節 總則

第一 本規程ニ於テ敵性財産トハ敵國並ニ敵國人ニ屬スル一切ノ財産ヲ指シ、稱スルヲトス

第二 敵國トハ米、英、蘭其ノ他我國ニ對シ宣戰ヲ布告シタル國家トス、宣戰布告トキキ國交斷絶ノ狀態ニアル國家及軍慶政權ニ就テモ前項ニ準スルモノトス

第三 敵國人トハ敵國ノ國籍ヲ有スル個人（日本國籍ヲ有スル個人ヲ除ク）並ニ公共團體及之ニ準スルモノ、敵國內ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人、敵國ノ法令ニヨリテ設立セラレタル法人ヲ謂フ

敵産管理法施行令第三條ニ該當スルモノ及敵性行為顯著ナル第三國人モ前項ニ準ス

敵國國籍ヲ有スルモノノ中東亞共榮圈内民族ニ就テハ別ニ之ヲ定ム

第四 敵性財産ニ歸シ昭和十六年十二月八日以降ノ權利ノ移轉變更ハ其ノ

善意合法ナルコトヲ立證シ得サル限り之ヲ無効トス

權利ノ移轉變更ニシテ前項期日以前ノモノト雖モ昭和十六年七月二

十六日以降ニ廢スルモノハ不動産ニ付テハ昭和十六年十二月九日ヨ

リ七日間以内ニ當事者ニ於テ關係證據書類ヲ領事館ニ提出シタル

モノ又動産ニ付テハ法律上ノ手續及代價支拂ヲ完了シタルモノニ非

レハ其ノ効力ヲ認めサルモノトス

第三節 處理機關及其ノ任務

第一 敵性財産處理委員會ハ與亞院華中連絡部次長ヲ長トシ其編成及職務ヲ別紙第

二號ニ規定ス

委員會ハ假稱一ヲ設ケ

- 一 一般敵性財産處理委員會ハ與亞院華中連絡部次長ヲ長トシ其編成ハ委員長之ヲ定ム

第六 敵性財産處理委員會ハ左記事項ヲ審議決定ス

一 敵性財産ノ調査及敵性非敵性ノ審査決定

二 沒收又ハ押收シ得ヘキ敵性財産ノ種類品目ノ決定

三 敵性財産ノ保管ニ關スル企畫策定

四 一般敵性財産處理委員會ニ處坤ヲ委任スヘキ事項ヲ決定

五 一般敵性財産處理委員會ニ委任ササルモノノ處理方法ノ決定

六 其他敵性財産處理ニ關スル事項

第七 一般敵性財産處理委員會ハ敵性財産處理委員會ノ委任ヲ受ケタルモノノ處理方法ヲ決定シ其後ノ運営ニ關シ監督指導ニ任スルモノトシ其事項ノ爲必要ナル場合ハ憲兵隊ニ調査並ニ措置ヲ委嘱スルコトヲ得

第四節 調査及保管

第八 敵性財産ノ調査及保管ノ爲要スル措置ハ第十五ニ依ル場合ヲ除キ憲兵隊之監督委員長ノ指示ニ基キ所定ノ調査報告ヲ爲スモノトス但シ前記機關ハ最寄部隊、領事館、支那側機關、工部局公董局等ノ協力ヲ求ムルコトヲ得

前項調査報告ニ關スル要領ハ別ニ定ム

第九節 使用

第九 敵性財産ニシテ軍用ニ供スヘキモノハ第十五ニ依ル場合ヲ除キ當該部隊ニ於テ敵性財産處理委員會ノ承認ヲ受クルモノトス
前項以外ノ貸下使用ニ付テハ憲兵隊ニ於テ願書ヲ受給シ意見ヲ附シ
該係委員會ニ送付スルモノトス

第六節 處理

第一〇 敵性財産ノ處理ニ關シテハ個々ニツキ委員會ノ決議ヲ經テ委員長之ヲ決定スヘキモノトス

委員長ハ決定事項ヲ上海方面陸海軍最高指揮官ニ報告スルト共ニ關係機關ニ通知スル等處理ニ必要ナル措置ヲナスモノトス

第一一 處理ノ態様ハ概ネ左記ニ依ル

一 工場、鑛山其ノ他事業場及金融機關等

(イ) 條件附運営許可

(ロ) 委任經營

(ハ) 閉鎖若クハ押收使用

二 一般不動産

(イ) 條件附權利行使許可

(ロ) 管理人ノ設置別途利用

(ハ) 閉鎖若クハ押收使用

(ニ) 押收（強制押收ヲ含ム）

三 文化施設

一號二號ニ準ス

四 一般動産

(イ) 軍需物資、物動物資ハ没収、押収、徴發又ハ買收（強制買收ヲ含ム）

(ロ) 以外ノ物資ハ條件附販賣許可

(ハ) 公共機關ヲシテ公共目的ニ使用ヤシム

(ニ) 移動制限

兵現金、預金及債權等

(イ) 没収又ハ押収

(ロ) 供託

(ハ) 代位取立

(ニ) 移動制限

第一三 押收セル現金ハ直ニ國庫ニ納入スルモノ、外滯留動産性財産處理

委員會ニ於テ之ヲ存貯保管シ動産性財産處理ノ管轄スル經營其他

第一四 動産性財産ノ處理ニヨリテ生ズル收入ハ動産性財産處理委員會ニ於

テ之ヲ處理スルモノトス

第一四 動産性財産ノ處理ハ總テ計劃ヲ行ハニシテ斷後ノ清算ニ支章ナカ

ラシムルモノトス

第七節 動産ニ關スル特別

第一五 上海ニ於ケル動産性財産ノ課税及處理ハ一般動産ニ付テハ陸軍

院同務會議委員會議ニ於テ又預金、地金等並ニ有價證券等ニ付

テハ直ニ國庫ニ納入スルモノトス又除キ一般動産性財産處理委員會ニ

於テ處理スルラ例トス但シ其ノ動産性非動産性、審査決定及同變更

ハ動産性財産處理委員會所管トス

第八節 處理ノ停止

第一六敵性財産ニシテ再調査ノ結果又ハ政幣上等必要アル場合ハ敵性
財産ノ取扱ヲ停止スルコトヲ得

第九節 収 支

第一七各官會ハ敵性財産管理ノ收支情況ヲ明確ニスル爲メ勘定科目ヲ
分ツ等適宜措置シ毎年十一月末日計ヲ以テ上海方面監査官
指押官一覽告スルコトヲス

附 則

第一八本規程ハ昭和十六年十一月八日ヨリ之ヲ適用ス

第一九本規程ハ上海以外ノ發集區占據地域内敵性財産ニ付キ之ヲ運用
ス但シ一中支新派軍直轄地域内敵性財産規程ニ依リ廢止ス
ヘキ重慶等ノ敵性財産ニ付テハ之ヲ適用ス

第二〇拿捕船隻及其ノ戰貨ノ確保ニ關シテハ本規程ヲ適用ス

參 考

敵性管理法施行令第三條

第三條 敵性管理法第一條第二項、第三條、第四條第一項、第五條

又ハ附則第二項ノ規程ニ依リ定ムル者ハ左ニ掲クル者(第一號乃至
第三號ニ掲クル者ニシテ大藏大臣ノ指定スルモノヲ除ク)トス

一 敵國內ニ居住スル個人

二 法人ノ敵國內ニ在ル支店其ノ他ノ營業所

三 敵國人以外ノ法人一シテ社員、株主若クハ業務ヲ執行スル役員
ノ半数以上又ハ資本ノ半数以上若クハ議決權ノ過半数力敵國、

敵國人又ハ敵國內ニ居住スル個人ニ屬スルモノ

四 大藏大臣ノ指定スルモノ

大藏大臣前項ノ規程ニ依リ指定シタルトキハ之ヲ告示ス

別紙第一

敵性財産處理委員會ノ組織及職務

第一 敵性財産處理委員會（以下委員會ト稱ス）ノ構成ハ別表ノ通ト
ス、委員長ハ召集隊參謀長トシ各委員及審判官ハ陸海軍財政高指
揮官之ヲ任命若クハ委嘱スルモノトス

第二 委員會ハ全般的企劃ノ策定ニ任シ審判機關ノ決議事項ヲ審議ス、
委員會ニハ必要ニ應ジ審判機關委員、臨時委員等ヲ列席セシム
委員會一於テ議決シタル事項ハ委員長ノ決議ニ依リ決行スルコト
ノトス

第三 審判機關ハ敵性ノ審査其ノ他委員會ノ職限ニ屬スル事項ヲ審議
シ之カ處理ノ原案ヲ作成ノ上委員會ニ提出スルコトトス

第四 委員會開催ノ時期ハ委員長適宜之ヲ定ムルコトトス

第五 委員會ノ事務處理ハ爲スルメ委員會事務所ヲ設ク

別冊第八

緊急佈告

今次大東亞戰爭勃發後大日本軍ノ押留シアル附表第一ノ敵國銀行ハ本日ヨリ一律ニ業務ヲ停止シテ清算ヲ開始スヘシ、而シテ清算事務ハ附表第二ノ日本各銀行ニシテ處理セシム

右 佈 告 ス

昭和十七年一月七日

上海方面大日本陸海軍最高指揮官

附表第一

業務ヲ停止スヘキ敵國銀行（即チ英、米、和、白等ノ各國銀行）ノ
上海支店左ノ如シ

- | | | | | | | | | | | |
|----|------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|---------|
| 英國 | 源豐銀行 | 麥加利銀行 | 有利銀行 | 沙遜銀行 | 通商銀行 | 達商銀行 | 花旗銀行 | 大通銀行 | 美國通運銀行 | 美商滙業銀公司 |
|----|------|-------|------|------|------|------|------|------|--------|---------|

白耳義	和	友	美
華	蘭	邦	豐
比	安	銀	銀
銀	達	行	行
行	銀		
	行		

附表第二

敵國（即チ英、米、和、白各國）銀行上海支店ノ業務清算ヲ擔任ス
 ヘキ日本系銀行左ノ如シ

橫濱正金銀行

滙豐銀行、沙遜銀行、滿洲隆美國通運銀行、美豐銀行、
 達商銀行、美商滙業銀公司、華北銀行

三井銀行

麥加利銀行

三菱銀行

花旗銀行

住友銀行

大通銀行

臺灣銀行

荷蘭銀行

安達銀行

友邦銀行

朝鮮銀行

有利銀行

